

発行：余市協会病院
発行日：平成 27 年 7 月 1 日
発行人：吉田 秀明
編集人：広報委員会
お問い合わせ：0135-23-3126



Vol.133 7月号

6時間リレーマラソン



今年も札幌ドームで行われた 6 時間リレーマラソンに余市協会病院走汗会 A・B と 2 チームでエントリーしました。初めて参加する職員も多く札幌ドームという大きな空間に圧倒されながら、お祭りの雰囲気を楽しみました。

A チーム 39 周(52 位/387 チーム)

B チーム 32 周(283 位/387 チーム)



「余市」について自由に意見を出しあいました。病院・医療という枠にとられず、わたしたちが暮らす「町」として改めてこの余市町を見なおすと、そこから実に様々な余市の姿が見えてきました。「魚や果物がいっぱい！」「余市の良いところや、」もって〇〇があればなあ……」この町にきてほしいお店など。中には「この観光資源はこうしたら活きるのでは？」といった、町を元気にするアイデアなど。ひよっとしたらたくさん出た意見やアイデアの中から、わたしたちにできることが何か見つかるかも？今後毎月 1 回程度で定期開催される予定です。

6月26日(金)地域国際支援センター主催のもと、職員によるはじめての試みとして「よいちいきカフェ」が開催されました。よいちと地域のことについて、形式にとられず自由な意見を出し合おうというアットホームな催しです。

まずパラグアイで JICA(青年海外協力隊)の活動経験があり、5月より当院に赴任している看護師の山脇さんが、自身の現地での活動や経験についてユーモアたっぷりにお話してくれました。

次にグループワークを行い、みんなで「余市」について自由に意見を出しあいました。病院・医療という枠にとられず、わたしたちが暮らす「町」として改めてこの余市町を見なおすと、そこから実に様々な余市の姿が見えてきました。「魚や果物がいっぱい！」「余市の良いところや、」もって〇〇があればなあ……」この町にきてほしいお店など。中には「この観光資源はこうしたら活きるのでは？」といった、町を元気にするアイデアなど。ひよっとしたらたくさん出た意見やアイデアの中から、わたしたちにできることが何か見つかるかも？今後毎月 1 回程度で定期開催される予定です。

第1回 よいちいきカフェ

エレンおばさんの「妄想・ひまわりロード」

それは、5 月末のある日の事。病院の正面に続く道に、リハビリの患者様が出ているのが見えた。一生懸命に歩行練習する姿と、それを支える理学療法士。…感動的ではあったが、ふと、私の脳裏に「殺風景な芝でなく、花が咲いていれば」という考えがひらめいた。それは、妄想(?)に、取りつかれた、と言っても過言ではない。

…ひまわりの種に特段の思いがあったわけではない。夏の花にひまわりしか思い浮かばなかったという、貧相な理由である。(苦笑)

……それから、早 1 か月半……

幾度とない、芝刈りの攻撃に、約半数のものが姿を消し、あるものはカラスや鳥たちのエサとなり、しまいには一緒にオブジェしていた 2 匹のリスの置物さえ、心無い誰かに持ち去られ、……ほぼ、大半が姿を消していった。

…かくして、ひまわりロードは、本当に妄想ロードと化した。…

今は、職員の「部長、また芝の前で、何やってんだらうねえ」という、励まし(?)に、少しでも支えられ、残った幾株かに、心血を注ぐ毎日である。

…はてさて、この話、看護師を育てることに通じるような・(=^・^=)



研修医リレーコラム73「口腔アレルギー症候群」

【シラカバ花粉症とくだものアレルギー】

北海道はシラカバが多く、シラカバ花粉症の有病率は 5-10%との推計があります。花粉症は花粉に対する体の免疫機構により抗体が産生されてくしゃみ、鼻水、鼻づまり、結膜炎などといった症状が出るアレルギー症状です。このシラカバ花粉と類似するタンパク質構造をもつものがあり、特にバラ科のくだものがそれにあたります。花粉症で産生された抗体が、次に出会うそのくだものと交叉反応して口腔内にアレルギー症状がでることを口腔アレルギー症候群(Oral Allergy Syndrome; OAS)、または食物花粉アレルギー症候群といいます。

【OAS の原因】～生の果物、生野菜、ナッツ類、スパイスなど。

シラカバ花粉症:リンゴ、桃、杏、さくらんぼ、プラム、なし、アーモンド、ヘーゼルナッツ、人参、セロリ、パセリ、キャラウェイ、フェンネル、コリアンダー、アニス、大豆、ピーナッツ

ブタクサ花粉症:メロン、ズッキーニ、キュウリ、キウイ、バナナ

札幌市にあるやまもと耳鼻咽喉科山本哲夫医師による調査で、350 人のシラカバ花粉症のうち 4 割以上が OAS の症状があったとされています。

【OAS の症状】

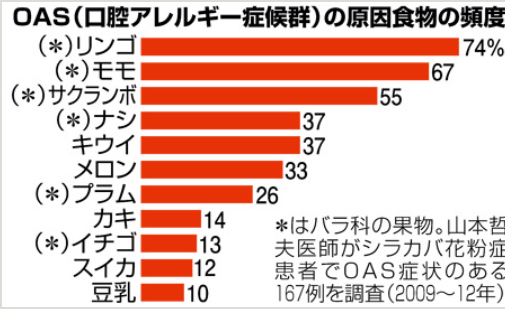
口腔内がびりびりする、鼻水がでてる、口やのどがかゆくなる、唇やのどの奥が腫れてくるといった症状が、食物が口に入ったとたんに生じます。OAS の 1 割の人には嘔気、胃の不快感を経験し、5%未満の人で喘鳴、呼吸困難、嘔気嘔吐、下痢、血圧低下、意識喪失などといった全身性アレルギー症状をおこすことがあります。

【OAS の治療】

花粉症やアレルギーに対して根本的な治療はありません。マスクをつけたり外出をひかえたりして花粉をさけること、症状の出る果物をさけることです。花粉をさけることで OAS も症状が軽症となるようです。

※アップルパイは食べられる！調理することで、共通抗原であるタンパク質の立体構造を壊すことで交叉反応しなくなる。

(参考:朝日新聞 果物のアレルギーとシラカバ花粉、Wikipedia、Phadia のサイト)



OAS(口腔アレルギー症候群)の原因食物の頻度

手稲溪仁会病院 研修医 齊藤 吉紀



救急件数 (6月) 外来受診291件 うち入院51件 救急車来院94件 うち入院40件